

一般質問 (4)

市は十分な検証をしたのか?!
資源物の戸別化と自治会への影響

かとう 涼子 (ネット)

質問 資源ごみの戸別収集化が、自治会の集団回収に与える影響について伺う。軒先に資源物を出せるようになることで、戸建住宅の自治会では、集団回収量の減少が見込まれる。集団回収奨励金を運営費に充当してきた自治会からは「存続の危機」との声も聞かれる。市は、制度改正の影響をきちんと検証してきたのか。

答弁 政策調整会議等で、戸別収集の必要性やメリット、デメリットを説明し、合意形成を図った。

質問 それは政策調整とは言わない。自治会の存続に影響を与える制度改正に対し、相互検証が行われてこ

なかつたのではないかと。全部署が集まりさまざまな角度から議論してきた。今後もしっかりと議論していきたい。

質問 市民会館が閉館し、市民活動にさまざまな影響が出ている。施設の統廃合や有料化を進める前に、今ある施設の有効活用を検討すべき。高齢者施設、児童館等の利用要件の緩和や学校施設の活用について伺う。

答弁 現在、庁内横断的な検討を開始している。

質問 外国人市民に向けて「やさしい日本語」の積極的な導入を提案する。

答弁 災害時にも有効とされる。適切に対応したい。

統合医療の社会モデルを参考に、文化の花が咲く西東京市へ!

山田 忠良 (自民)



約150品種のバラを春から秋にかけて楽しめる保谷町ローズガーデン

質問 統合医療とは、西洋医療を中心に、伝統医療や食育、社会環境の整備などを行う考えか。

市長 厚生労働省の情報発信サイトなどを参考に、今後も国の動向に注視していく。

意見 統合医療は健康応援都市を補完する新時代の政策提言だ。今後も引き続き道徳教育について

質問 今年度か

動物飼育を通じ命の教育の推進を ICT推進で学習環境の改善を

中川 清志 (自民)



田無小学校の飼育小屋

質問 子どもたちや教員が丁寧に世話をし、愛着を持った動物が衰え、死亡していく経験は、命の実感を与える大切な機会である。学校によっては、教育的配慮として動物の死を隠すことがある。見解は。

教育長 児童にとつて、大切に育ててきた経験を通じて、生命の尊さを感じることもできる機会。一律に飼育動物の死を遠ざけてしまいう指導は、学習指導要領の趣旨に添わないこともある。

質問 夢・未来講演会のような、中学生が他校生徒と切磋琢磨する機会はすばらしいが、一部の生徒しか参加できない。テレビ会議システムなどを利用し、全ての生徒に機会を与えるべき。

ICTの活用は、主体的・対話的で深い学びを実現する上で効果的。他校や他地域の交流に、テレビ会議システムの活用を含め検討する。

質問 小学校体育館に緊急的な冷風機導入の検討を。

教育長 冷風機を含めた空調方式を検証していく。

質問 地域の見守りの目を増やし、また飼育者のマナー向上のため、わんわんパトロール及びイエローチョーク作戦の導入を。

市長 パトロールは検討・調整を行う。イエローチョークは7月から開始する。

幼児教育・保育の無償化を実現! 幼稚園3万2千700円の無償化を

浜中 のりかた (自民)

子育て世代の負担を軽減し、さらなる子育て応援を

質問 幼稚園における無償化の金額について伺う。

答弁 国制度による補助に加えて、東京都と市の保護者負担軽減事業を現在の補助水準で維持する方向で制度設計を進めている。

意見 所得制限なしで3万2千700円までの無償化を強く要望する。

質問 3歳から5歳の保育園の保育料は無償化になる

市長 いこいの森公園など大きな公園のリニューアルの際には市民の声を反映していく。

その他質問等

- ◇市民会館使用団体
- ◇スポーツ振興
- ◇オリンピック時テロ対策
- ◇プラスチックごみ問題
- ◇公共施設の駐車料金



向台保育園の給食室

次の世代のための政治を! 次世代への責任を果たす!

酒井 こう一郎 (自民)

公園行政について

質問 公園にネーミングライツを導入し特色ある公園づくりを進めよ。また、いこいの森公園にオープンスペースを含む新たなパークセンターを設置すべきだ。

市長 公園のリニューアル時に検討を進める。

質問 高齡化が進む中で周囲に迷惑をかけず人生を終わるための準備をする「終活」をする方が増加している。市の取り組みを進めよ。

市長 終活支援は課題や心配事を解決するもので市内葬祭業者や司法書士等が連携し支援に取り組んでいる。引き続き調査研究をする。

「落ちこぼれ」ゼロの 小中一貫教育を

保谷 なおみ (自民)

質問 西東京市が現在進めている小中一貫教育の目的は何か。

答弁 西東京市では、1つの小学校から複数の中学校に進学している現状がある。どの小学校からの中学校に進学しても、子どもが不安を感じることがないようにする、いわゆる中一ギャップの解消が、小中一貫教育の目的だ。

質問 他自治体でやっているような、校舎を一緒にする小中一貫教育を今後西東京市では目指すのか。

答弁 西東京市の小中一貫教育は、直接学校の統廃合に結びつくものではない。

意見 私が特に注目している

- ◇再犯防止の取り組みについて
- ◇8050問題について
- ◇子育て世代包括支援センターについて
- ◇ひばりヶ丘駅北口のまちづくりについて
- ◇デジタル教科書について